No.112　1987.7

・西南学院大学・
図書館報

夏休みを前に……赤尾美秀・萩野幹子 2
卒論作成のイロハ……仲澤幸壽 4
図書館と電算化……品川寿子 5
昭和61年度図書館各種統計…… 6
お知らせ・報告…… 8
〈付録〉昭和62年度 指定図書目録

新英語聖書(NEB)を読もう

文学部教授　安　徳　典　光

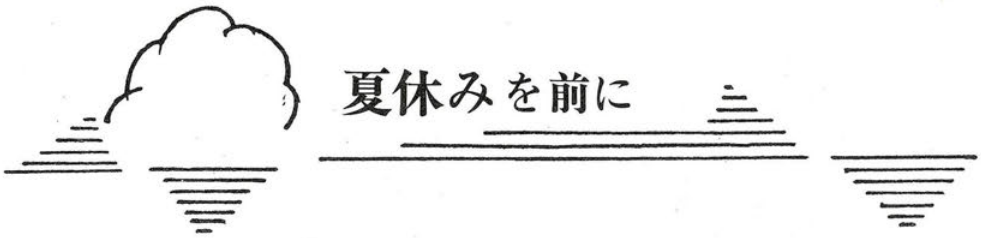
「バイブル」という言い方が一般に流通しているが、聖書はもとはと言えばただ「書物」にほかならなかったのである。（語源を調べてみよ）しかし敬虔の情を投射して形容詞「聖」を附加せずにおられなかったのである。

所で1611年の欽定英訳聖書(The Authorized Version）が英語国民の精神文化にとってシェイクスピアと共に必需品であり、彼らにより聖書が“The indispensable book”あるいは“The Book of Books”と呼ばれたりするのもそのせいである。欽定英訳聖書は統一された文体と簡素で迫力に富む表現で訳されていて、翻訳の域をはるかに越え英国散文の精華としてのみでなく、シェイクスピアと共に英文学最大の古典の位置を占めている。歴史家マコーレイが欽定英訳を讃えて「もし英語で書かれたものがことごとく亡びても英語聖書さえ残るならば英語の美と力とはいかんなく実証されるであろう」と言うのも過言ではない。

その後「死海写本」の発堀などの考古学的発見とそれに附随した言語学的並びに歴史的知識の増大により多くの新しい改訂訳があらわれた。しかしながら欽定訳の改訂訳に対する不満が次第にたかまり1946年スコットランド教会（長老教会）の発議で英国教会はじめプロテスタント諸教会が結集して新訳委員会が組織された。翻訳は欽定訳やその改訂訳の改訂ではなく、原典から現代英語に新しく訳し、英語的でない表現はすべて追放することになり欽定訳と並んで権威ある第二の聖書英訳を目指した。こうして翻訳の作業が始まり1961年新約、1970年旧約が出版された。これが「新英語聖書」（The New English Bible）である。

新訳の総指揮者C.H.ドッド教授は「新訳は純粋に英語のイディオムを用い、奇異でなじみのない感を与えないようにする。理想をいえばtimeless Englishを目指し、古語や一時的流行語は同じように避ける。表現は一応の知性をもった人にはわかるように平易であっても無味乾燥で単調であってはならない」と述べているが、事実ＮＥＢは今までの伝統的な訳語にとらわれず最近の聖書学の知識をとり入れながら、しかも文体的にも文学者の応援を求めて物語、説教、詩など形式の変化に応じてそれにふさわしい格調を生み出すよう努力した跡が見られる。全体的にやや華麗ではあっても律動的で名句に富んでいる。荘重さをある程度維持しようとしながら、平易な口語的表現が基調をなしていると思う。語彙、語法、構文の長さ、内容などからしても当代一級の英語で書かれている。ぜひ学生諸君の通読、熟読をおすすめしたい。

（あんとく　のりみつ：英語学）



夏休みを前に

文学部講師　赤尾美秀

夏休みを前に、また図書館報「読書のすすめ」です。もちろん、親しみにくそうな「古典的文学作品」を体験することをおすすめします。

皆さんは、レジャーに勉学に様々な計画を立て、悔いなき休みの利用を準備していることでしょう。期待一杯楽しい休み。通学と授業出席とその他の義務的な課題からの長期間の解放。私も職業がらまとまった自由な時間が作れそうで、夏休みにはこんな本の読み方もいいと、ひそかに思うところを公開いたします。

古典でも軽い薄い短い本、長くても筋の面白そうなのは避け、出来るだけ読み通しにくく難解で不愛想な、文庫本数巻相当の本（ゲーテ、プルーストの長編小説等）を自分で選び、大金をはたいて（借りず）購入します。夏休みの読書体験は、ありきたりの日常からの解放です。大冒険にケチケチしてはいけません。

次に、文学史、文芸学、何々概論等の大学の学問から離れた読み方です。作品（と作者）についての客観的理解と知識は、純粋な読書体験を一般概念に解消しがちです。しかしもともと文学作品とは、それを自分＝私がひとりで読むという、個人の極めて主観的な行為自体としてしかあり得ず、読んでいる私の意識の体験外には、印刷物の書はあれど作品はありません。「古典」は読まれぬ限り他人事に留まり、読まれるたびに初めて一回的に再生します。古典とは初体験の繰り返しの別名でしょう。古典は学ばれえず、私の感性を通してのみ存在します。

はじめから長い作品のすべてに目を通すのは大変です。その上、最初から最後まで一通りかろうじて読了という作業は、叙事的な長編特有の豊かな多様性を犠牲にし、その見取り図のみの把握になりかねません。景色を見る余裕のない登山のように。道草の楽しみはその場所まで登ってからのことですが、読書はいきなり途中どこでも気侭に開けて読める特権的行為、ランダムアクセス可能な冒険です。物語の体裁に真面目に従わず、気侭な遊戯の読書が可能です。同じ本を何度でも読む。読むことが苦痛になれば思い切って飛ばし、自分の発見した気に入った個所は暗記するほど徹底して楽しむ。終りから遡るもつまみ食いもよし。まともで正しいと思われる読み方に逆らうことが、発見に満ちた計り知れない体験をもたらしてくれそうです。

マンがゲーテを意識してのアイロニカルな一節。「素質ある若者の成長には、長いひまな時間が必要だ。教養とは自由と一見ゴロゴロしていることの賜物だ。教養は勉強や努力で得られるのでなく、空気みたいに吹い込まれる。感性と知性がこっそりせっせと動いていることは、完全な怠け者でいることと、ほんとうによく結び付いている。教養は、選ばれた人には寝ているときにすいすい身につくものといえよう。」

（あかお　よしひで：ドイツ語）

夏休みを前に

萩　野　幹　子

もうすぐ夏休み。アルバイトやクラブ、旅行に合宿と、計画がいっぱい立ててあることと思います。4年生にとっては、夏休みどころではないかもしれません。

しかし、2ヶ月近くもある夏休みに、本が読まれる機会はかなり少ないようです。せいぜい宿題のレポートや前期試験に関係するものくらいではないでしょうか。大学生活の4年間に、自分の将来、進路を決める人が多い昨今、アルバイトやクラブ、旅行などで体験して得るものも、もちろん大切ですが、「本」を通して広い社会を見たり、自分自身を見つめ直したりすることも、忘れてはいけないと思います。

これから始まる夏休み、いろんなジャンルの本を、沢山読むのがいいのでしょうが、特に、社会に出てみて、読んでおいた方がよかったなと思う本を少し掲げてみましょう。

まず、企業に関する本。4年生になった時、漠然と就きたい職業はあっても、具体的に、それはどんな仕事なのか、そこに就職するには、どういう事を勉強しておく必要があるのかということがよくわからないことがあります。4年生になってからというよりも、少し早目に、そういう本に接しておく方がよいでしょう。

次に、実務関係の本。実際、社会人になると仕事の上で覚えなければならないことが次から次に出てくるので、基本的な事務処理は、学生の間に覚えておく方がよいと思います。秘書検定のテキストや日本実業出版社の「事務がわかる事典」などは、わかりやすいです。また、OAの入門書など、職場でコンピューターがどのように使われているかを大まかでもつかんでおいた方がいいでしょう。

また、教育テレビで放映されている「ETV8」や「ビジネスウィークリー」で取り上げられた内容に関する本などを読むと、現代社会の一面を見ることができて、役に立つと思います。

そして、西南生としては、「神と人とに誠と愛を」というような、西南関係の本も、読んでおくべきだと思います。

すぐに役に立つ本というのは、やはり実務関係の本が多いですが、せっかく、まとまった時間ができる夏休みには、読まなければならない本だけではなく、読みたい本というのも、探してみてほしいと思います。

（はぎの　もとこ：就職課）

卒論作成のイロハ

経済学部助教授 仲 澤 幸 壽

卒論とは、文字通り、大学生活（勉学！）四年間の成果をまとめるものである。だからといって、何も、大きなテーマを選ぶ必要はない。テーマは、むしろ絞り込んだ方がよい。その方が密度も濃くなるし、より明確に自分の意見を主張できるからである。このことが、卒論に限らず、論文を書く上で最も重要なのである。だから、ネタ本を合成した卒論が、独自に作成したものより良いなどということは、あってはならないのである。そのことを前提に、一般的な卒論作成手順について述べることにする。

作成の手順は、（1）問題意識に基づくテーマの決定、（2）文献・資料の収集、（3）議論の整理、（4）自分の論点の整理、最後に、（5）執筆という段階を踏むのが普通である。

作成手順のうち、執筆以前の段階が、時間的にも労力の面からも、大きなウェイトを占める。まず、文献・資料の入手に予想以上の困難が伴う。このことは、あまり学生諸君には知られていないらしい。文献は、手元の本、新聞・雑誌の書評や広告、教師の助言等を手掛りに探す。しかし、それらが、図書館や書店(生協を含め)に行けば、すぐ入手できるとは限らない。僕の経験では、文献収集だけでも五ヶ月はかかったように記憶している。入手するまで、事務の方々や店員さんと自然に顔馴染みになるぐらい、図書館や書店に、頻繁に通う必要がある。

さて、求める文献・資料を入手したならば、内容を分析する段階へ進む。ここでは、他の人々の論点を調べ、自分の意見との相違点を整理する。これが、卒論を作成する上で、中心になる作業である。もしテーマがうまく選ばれていれば、この作業も楽しく進めることができるであろう。思いがけない事柄に出会ったりするからである。

最後に、いよいよ執筆ということになる。これは、前段階までの作業をふまえ、論文の構成を考えることから始まる。構成は、目的を述べ全体の流れを示す序文、他の人々の議論の紹介と疑問点の指摘を行う部分、資料に照らし合わせながら自分の考えを主張する部分、そして結論を述べる部分という形が一般的であろう。

実際に書くときには、短く明快な文章が良い。文章力は、質の高い文献を読み込んでおけば、自然に身につくものである。つまり、執筆までの前段階をきちんとやっておけば、文章力も養われるはずなのである。勿論、通読し推敲することが肝要である。そのとき、他の人を説得することが論文作成の目的であるということに、十分留意しながら筆を進めてもらいたい。

（なかざわ　こうじゅ：厚生経済学）

図書館と電算化

品川寿子

二階の受付カウンターを通って三階のロビーに上がるとカードボックスがずらりと並んでいます。箱の上に「書名目録」「分類目録」「著者名目録」などの案内板があり、引き出しの表題はアルファベット順になっていて、中に目録カードが整然（？）と収められています。本学の図書館が所蔵している図書の全容が、この目録カードに凝集されて利用者の活用を待っています。沢山の資料の中から、自分の欲しい資料を見つけだすには、開架閲覧室の図書であってもその分類がわからなかったり、閲覧中や貸出中であるものは直接見つけることができませんし、閉架書庫の本についてはカード目録で捜すほかありません。さてそのカード目録ですが、カード枚数が増えるにつれて捜しにくくなるという欠点があります。例えば書名目録で本を捜すとしてもカード枚数が100枚ぐらいなら、アルファベット1文字のイニシャルだけでも捜すことができるが、40万枚といった規模になるとアルファベット5文字目～10文字目のところまで配列を見て捜さなければ見つからないというケースが増えてきます。カードボックスの前で腰をかがめて、カードを1枚1枚めくり、やっと見つけたら申込用紙にいろいろ書き込まなければなりません。これでは「しゃあしかー」と敬遠されてもしかたがありません。現実にはカード目録は次第にその機能を失いつつあるようです。それではもし図書館の業務が電算化されたとしたならば———

数台のテレビのようなもの（ディスプレイ）が利用者用に置かれています。それにはカタカナとアルファベットのキーが並んでいて、利用者が「ステュアート＊」(書名をステュアートとしか覚えていない時）とカタカナのボタンを押すと、ただちに何冊かの「ステュアート○○○」「ステュアート××」「ステュアート△△△△」という漢字の書名と著者名等が現れます。この中の1冊を選んで番号のボタンを押すと「ステュアート研究：重商主義の社会・経済思想／川島信義著－東京：未来社、1972.－445p；22cm.　請求番号331．314．13　開架閲覧室」と詳しい情報が漢字で表示されます。これには貸出中の表示もされますので、貸出中であれば予約をすることもできます。もし書架にあって貸出を希望するのであれば、図書と一緒に利用証をカウンターに提出すれば、図書の番号と利用証の番号をＯＣＲ（光学式文字読取装置）ハンドスキャナで読みとり、瞬時に手続が完了します。今のように書名や利用者の氏名等を記入する必要がありません。求める資料が当館にない時はもっと大きな機関（学術情報センター等）に端末機をつなぐと、全国規模の図書に関する情報がオンラインで検索できます。相互貸借システムによりファクシミリでリアルタイムに電送されることもできます。

これには技術、費用、運営、データベースの蓄積などいろいろな問題がありますが、どこかよその国の話ではありません。

本館においても現在業務電算化の調査、検討が続けられています。利用者が資料に容易にアプローチできるような電算化、利用しやすい図書館を目差して努力したいと思います。

（しながわ　ひさこ：整理課洋書係）

昭和61年度　図書館各種統計

● どんな内容のものがどれだけ増加したか。

○図　書　　（単位：冊数）

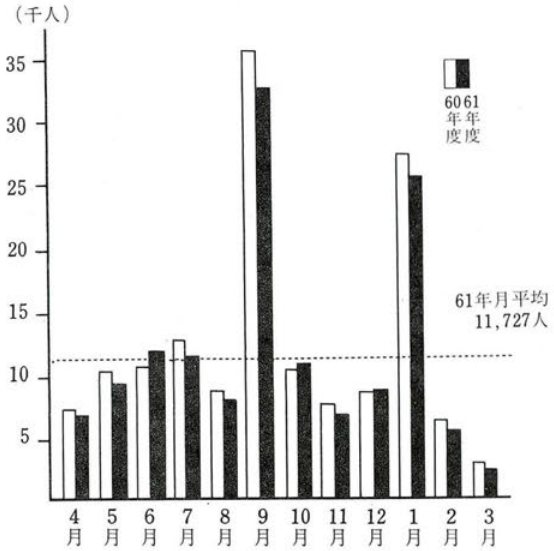
区分＼分類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	計
和　書	756	1,070	1,048	5,886	777	448	741	579	430	1,062	12,797
洋　書	693	712	502	3,035	225	70	525	128	878	2,626	9,394
計	1,449	1,782	1,550	8,921	1,002	518	1,266	707	1,308	3,688	22,191
60年度和洋合計	1,658	1,682	1,398	7,281	1,014	493	1,006	873	1,371	3,092	19,868

○視聴覚資料

レコード	テープ	マイクロフィルム	マイクロフィッシュ	フィルム	スライド	絵話	フロッピィディスク	ビデオテープ	マグネティックテープ	コンパクトディスク	計
7　枚	60リール	179リール	77　点	0　本	4　本	0　点	115枚	14　本	2　本	15　枚	473件

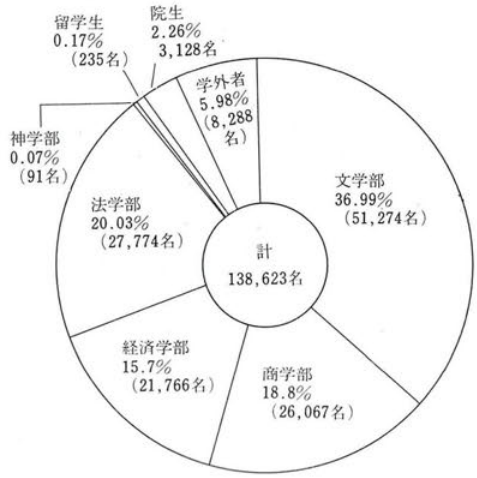
● この2年間にどれだけ利用されたか。

○入館者数（月別）



○学部別入館者数（割合）

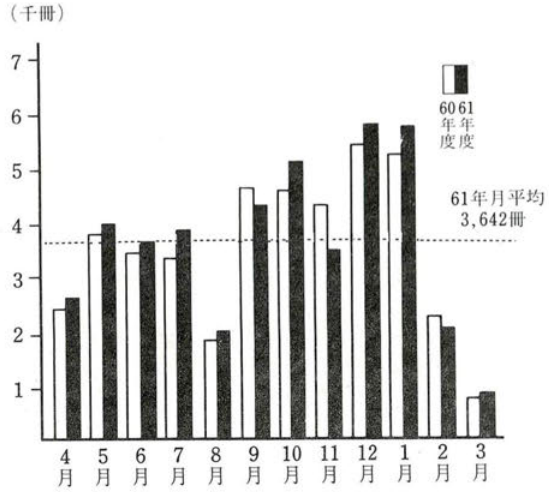
（教員を除く）



年度	合　計	1日平均
60	148,449人	536人
61	140,725	510

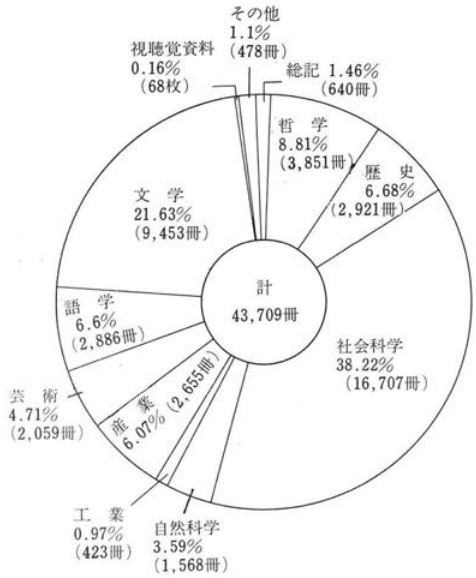
（60年度　開館日数 277日
61年度　開館日数 276日）

○館外貸出冊数



年度	合　計	1日平均
60	42,393冊	153冊
61	43,709	158

○主題別貸出冊数（割合）

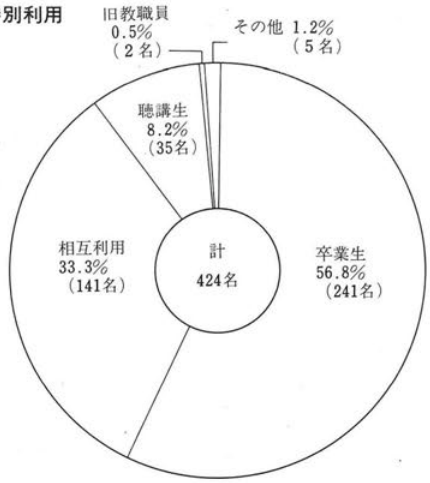


● その他の利用統計

○文献複写

利用者区分＼種別		電子複写		マイクロフィルムからの引伸	
学内	教員	1,219件	34,472枚	45件	2,471枚
	学生	4,670	45,570	0	0
学外		1,005	16,100	0	0
合計		6,894	96,142	45	2,471

○特別利用



（特別利用者 424名の内訳）

○他大学図書館へ本学学生の相互利用希望		43件(77)
○視聴覚機器貸出		0件(3)
○学生の図書購入希望		111件(83)
○投　書		0件(0)
○紛失弁償図書冊数		16冊(25)
○閉架図書閲覧件数		3,629件(3,878)
その内訳	卒業論文	384件(292)
	図　書	1,612件(1,544)
	レコード	94件(40)
	新聞・雑誌	1,536件(1,982)
	紙芝居	3件(20)

※（　）内は60年度

お知らせ

○夏季休暇中の開館時間および休館

開館　日曜日を除く毎日　9：15～21：00
（1階学習室は閉室）

休館　7月27日(月)・28日(火)、8月13日(木)・14日(金)・15日(土)

○夏季休暇中の長期貸出

7月1日(水)～9月8日(火)

学部学生　5冊以内

大学院生（実施中）20冊以内

いずれも返却期限は9月18日(金)

○卒業論文，修士・博士論文用特別貸出

卒業年次生には、卒業論文、修士・博士論文作成のための特別貸出をしています。

通常の貸出のほかに

学部学生	3冊以内	1ケ月間
大学院生	5冊以内	2ケ月間

ゼミ指導教授の承認を要しますので、希望者は、受付で特別帯出証をもらってください。

○先輩の卒論の閲覧について

卒業論文の作成にあたり、参考のため図書館に保管中の先輩の卒論を閲覧することができます。ゼミ指導教授の承認を要しますので、希望者は受付で用紙をもらってください。

☆ 報 告 ☆

〈図書館委員会〉

○62.4.16　① 昭和61年度図書館決算について
② 昭和62年度図書館追加予算の申請について
③ 昭和62年度共通研究図書費、一般図書費および新聞雑誌費の配分について

○62.5.7　① 昭和62年度私大助成の申請について

〈研修・出張〉

○昭和62年度第1回私立大学図書館協会西地区部会　九州地区協議会
62.4.23　於：佐賀市
刀根事務次長、今永課長出席

○第38回（昭和62年度）九州地区大学図書館協議会総会
62.4.24　於：佐賀市
刀根事務次長、今永課長出席

○昭和62年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会
62.5.14　於：九州大学
刀根事務次長、伊藤係長、有森司書出席

○福岡オンライン研修会（システムII）
62.5.15　於：福岡・丸善支店
有森司書、川上司書補出席

○第4回学術情報センター・シンポジウム
62.5.26　於：京都大学
荒川係長出席

○第8回ＥＤＣセミナー
62.5.28,29　於：慶応義塾大学
小嶋司書出席

○私立大学図書館協会昭和62年度春季西地区部会
62.6.5　於：京都学園大学
刀根事務次長出席

西南学院大学図書館報　No.112　1987（昭和62）年7月1日発行
編集　館報編集委員会
発行　西南学院大学図書館　〒814 福岡市早良区西新6丁目2番92号　ＴＥＬ(092)841－1311(代)

昭和62年度 指定図書目録

(Reserved Books)

指定図書とは、講義担当の先生方が、その講義に直接関係して学生に必ず参考にしてもらいたい図書を指定されたものです。年間を通じて2階閲覧室に備えています。なお、講義区分は学生便覧を参考にしました。

一般教育科目

赤 尾 美 秀<西洋文学>

若いゲーテ 評伝 高橋健二 河出書房新社
ヴァイマルのゲーテ 評伝 高橋健二 河出書房新社
ゲーテ(上)(中)(下) シュタイガー, E. 人文書院

古 澤 嘉 生<音楽>

ヨーロッパ音楽の歴史 ヒューズ 朝日出版社
西洋音楽史—音楽様式の遺産—ヴァン・エス 新時代社
音楽分析 シャイエ 音楽之友社
音楽史—グレゴリオ聖歌からバッハまで— パリシュ/オール 音楽之友社
シェーンベルクとその楽派 レイボヴィッツ 音楽之友社

<キリスト教学Ⅳ>

音楽社会学 M.ウェーバー 創文社
精神史としての音楽史 野村良雄 音楽之友社
世界宗教音楽史 野村良雄 春秋社
ユダヤ民族音楽史 水野信男 六興出版
ポリフォニーに見る歓び R.ヴリーゲン 音楽之友社

<キリスト教学Ⅲ>

浪漫主義文学の誕生 笹渕友一 明治書院
讃美の詩と音楽 由木 康 教文館
Sing with Understanding H. Eskew/H. McElrath Broadman Press

樋 口 進<中国文学(2)>

阿Q正伝・狂人日記 魯迅 岩波書店
野草 魯迅 岩波書店
故事新編 魯迅 岩波書店
朝花夕拾 魯迅 岩波書店
魯迅評論集 魯迅 岩波書店
阿Q正伝・狂人日記 他6篇 魯迅 旺文社

岩 尾 龍太郎<倫理学>

Robinson Crusoe D. Defoe Perguin
Roxana D. Defoe Perguin
ガリヴァ旅行記, ロクサナ (世界文学全集10) スフィフト/デフォー 集英社
デフォー J.サザランド 研究社

神 宮 典 夫<初級ラテン語Ⅱ>

詳解ラテン文法 藤井 昇 (他) 研究社

松 原 宏<人文地理学>

都市圏多核化の展開 大阪市立大学経済研究所 東大出版会
国際化時代の都市と農村 自治体研究社
街のトレンドを読む 外 益三 日本経済新聞社
都市論のフロンティア 吉原直樹 (他) 有斐閣
現代の都市と農村 宮本憲一 日本放送出版協会

松 村 敬 治<化学>

化学結合を考える—原子から分子へ— 飯島孝夫/小谷正博 講談社

森 泰 男<キリスト教学Ⅱ>

宗教再考 笠原芳光 教文館
トゥルナイゼン著作集 (第6巻) E.トゥルナイゼン 新教出版社
神は多くの名前をもつ J.ヒック 岩波書店
イエス・キリストを学ぶ 百瀬文晃 中央出版社
キリスト教教理入門 伊藤忠彦 ヨルダン社

<キリスト教学Ⅲ>

滝沢克己著作集 全10巻 滝沢克己 法蔵館
宗教とは何か 西谷啓治 創文社
和解論 Ⅰ・Ⅱ カール・バルト 新教出版社
仏教とキリスト教の接点 八木誠一 法蔵館
聖書入門 1～3巻 滝沢克己 三一書房

<キリスト教学Ⅳ>

トレルチ著作集 7～10巻 E.トレルチ ヨルダン社
イングランド宗教改革 11・12巻 教文館
現代キリスト教倫理 D.ボンヘッファー 新教出版社
カール・バルト 大島末男 清水書院
キリスト教倫理 カール・ヴィスロフ いのちのことば社

中 村 和 夫<キリスト教学Ⅳ>
総説新約聖書　荒井　献（他）日本基督教団出版局
大 濱 順 彦<物理学>
図説・物理学　米満　澄／広瀬立成　丸善
ぶつり（自然の美と神秘）第2版
大槻義彦　共立出版
ご冗談でしょう、ファインマンさん　Ⅰ・Ⅱ
R. P. ファインマン　岩波書店
青春のアインシュタイン
M. フリュキガー　東京図書
佐々木 武 夫<社会学>
社会学への招待　P. L. バーガー　思索社
日本人の結婚観　神島二郎　筑摩書房
大衆社会の政治　W. コーンハウザー　東京創元社
新しい家族社会学　森岡／望月　培風館
ポスト社会主義　A. トゥレーヌ　新泉社
柴 田 徳太郎<経済学B>
ゼミナール日本経済入門　日本経済新聞社
日本経済新聞社
経済学　日高　普　岩波書店
経済学Ⅰ・Ⅱ　桜井・山口・侘美・伊藤　有斐閣
人間の経済Ⅰ・Ⅱ　ポランニー　岩波書店
転換期の資本主義　宮崎義一　NHK
山 崎 喜代子<生物学>
細胞の分子生物学　ワトソン（他）　教育社
動物発生学　片桐千晶　岩波書店
細胞　佐藤七郎　岩波書店
ガン遺伝子を追う　高野利也　岩波書店
DNA学のすすめ　柳田充弘　講談社

文 学 部（英語・英文）

安 徳 典 光<演習>
Business communication. Lesikar
Richard D. Irwin
Business Ietters for all. Naterop　Oxford Univ.
Handbook of business letters　McGraw-Hill
The language of business. Mack　BBC
江 崎 義 彦<演習Ⅰ・英米文学講読（詩）>
Lord Byron: Childe Harold's Pilgrimage
岡倉由三郎　研究社
バイロン　H. Read　研究社
イギリス・ロマン派詩人　磯田光一　河出書房新社
講座・英米文学史—3, 詩Ⅲ　加納秀夫（他）　大修館
<イギリス文学研究>
ポープ　矢野禾積　研究社
イギリス・新古典主義の詩　村上至孝　研究社

泉 マス子<スピーチB>
Handbook of Storytelling. Hunsinger
Improving Oral English through Choral Speaking.
Larson
<スピーチA>
Basic Oral Communication. Capp　Prentice-Hall
Speech Communication and Human Interaction.
Scheidel　Scott Foresman
<演習>
Communication in Face to Face Interaction.
Laver & Hutchson　Penguin
Crass-Cultural Universals of Affective Meaning.
Osgood　Univ. of Ill. Press
<コミュニケーション概論>
Basic Readings in Communication Theory.
C. D. Mortensen　Harper & Row
Nonverbal Communication in Human Interaction.
M. L. Knapp　Holt, Rinhart & W
The Functions of Human Communication.
F. E. X. Dance　Holt, Rinhart & W
Intercultural Communication.
Samovar & Porter
久 屋 孝 夫<英語科教育法>
心にひびく英語の授業を創る　小山内洸（監修）
三友社出版
たのしくわかる英語の授業　中1・2・3
金子ひろむ（監修）　三友社出版
よくわかる英語教科書の教え方　中1・2・3
新英研（監修）　三友社出版
意欲をそだてる高校英語の授業　新英研（監修）
三友社出版
北国に芽ぶく英語教育　安藤勝夫／吉田　孝
三友社出版
大 森 衛<演習>
ホーソーンの世界　小山敏三郎　萩書房
ホーソーン：陰画世界への旅　酒本雅之　冬樹社
ホーソーン論：アメリカ神話と想像力
大井浩二　南雲堂
鏡と影—ホーソーン文学の研究　鈴木重吉　研究社
ホーソーン短編集：解説と鑑賞
辰己　慧　新日本教文大学社
<アメリカ文学研究>
楽園と機械文明　L. マークス　研究社
佐渡谷 重 信<演習Ⅱ>
ユダヤ人の歴史　シーセル・ロス　みすず書房
今日のアメリカ作家群像　浜野成生　研究社
アメリカのユダヤ系作家たち
アレン・グットマン　研究社

バーナード・マラマッド研究　佐渡谷重信　泰文堂

＜比較文学＞

鷗外と西欧芸術　佐渡谷重信　美術公論社

瀬石と世紀末芸術　佐渡谷重信　美術公論社

日本近代文学の成立、上・下　佐渡谷重信　明治書院

比較文学　P. V. ティーゲム　清水弘文堂

＜アメリカ文学研究＞

アメリカ文学の新展開・小説　尾形敏彦　山口書店

ノーマン・メイラーの世界　佐渡谷重信　評論社

ベロー　渋谷雄三郎　冬樹社

＜アメリカ文学概説＞

概説アメリカ文学史　横溝四郎（他）　金星堂

総説アメリカ文学史　大橋健三郎（他）　研究社

アメリカ文学名作選　福田陸太郎　中教出版

現代アメリカ文学入門　龍口直太郎　評論社

田部井　孝　次＜英米文学講読（批評）＞

曖昧の七つの型　ウィリアム・エンプソン　研究社

文芸批評の原理　I. A. リチャーズ　八潮出版

ニュー・クリティシズム—本質と限界—　南雲堂

ニュークリティシズム研究　高橋正雄　北星堂

武　井　俊　詳＜演習＞

Principles of pragmatics. Leach, G. N.　Longman

Linguistic Commnication and Speech Acts. Back and Hamish　MIT

日本人とアメリカ人の敬語行動　井出祥子（他）　南雲堂

Questions and Politeness. Goody, E. N.　Cambridge U. P.

英文ビジネスレターの技法　平田重行　ダイヤモンド社

田　中　輝　雄＜演習Ⅱ＞

Adventures of Huckleberry Finn　大橋栄三　研究社

A Mark Twain Lexicon　R. L. Ramsay／F. G. Emberson　名著普及会

文　学　部（フランス語）

太　田　和　男＜フランス文明論講読＞

フランス心の旅　田辺　保　日本基督教団出版局

＜演習＞

レトリック感覚　佐藤信夫　講談社

レトリック認識　佐藤信夫　講談社

レトリックの消息　佐藤信夫　百水社

文　学　部（児童教育）

藤　野　　力＜情報処理基礎・統計処理システム＞

パソコンソフト移植テクニック　谷岡康則　誠文堂新光社

タイムシェアリング用言語　伊藤・木下　竹内書店新社

実用 BASIC　大西正和　日刊工業新聞社

実用 BASIC 演習　大西正和　日刊工業新聞社

BASIC 入門　高山・小関　朝倉書店

大　濱　順　彦＜物理学概論＞

結晶は生きている　黒田登志雄　サイエンス社

結晶とX線　H. S. リプソン　共立出版

X線回折要論　新版　B. D. カリティ　アグネ

化学結晶学入門　斉藤喜彦　共立出版

結晶成長とゲル法　H. K. ヘニッシュ　コロナ社

＜保育内容の研究：自然＞

レーザーのはなし　小林春洋　日刊工業新聞社

ディジタルのはなし　相良岩男　日刊工業新聞社

真空のはなし　麻蒔立男　日刊工業新聞社

LSI のはなし　相良岩男　日刊工業新聞社

センサのはなし　山崎弘郎　日刊工業新聞社

坂　口　りつ子＜家庭教材研究＞

小・中学校でできる食物実験　河村フジ子　家政教育社

小学校家庭科における実践・研究　藤枝真子（他）　家政教育社

小学校家庭科教育の研究（総論編）　家庭科教育学研究会　学芸図書

小学校家庭科教育の研究（各論編）　家庭科教育学研究会　学芸図書

新編・家庭科教育法　家庭科教育学研究会　学芸図書

＜乳児保育＞

乳児保育指導　日本母子衛生助成会　日本母子衛生助成会

乳児の保育—0. 1. 2 歳児の生活と保育内容—　千羽喜代子　萌文書林

新・育児学読本（からだの科学増刊13）　小林　登　日本評論社

保育学読本（からだの科学増刊14）　岡　宏子・小林　登　日本評論社

＜小児栄養＞

お料理一年生　ベターホーム　ベターホーム出版局

新・栄養学読本　細谷憲政　日本評論社

子どもの心を育てる食事学　藤沢良知　第一出版

やさしい栄養学　小池五郎　女子栄養大

料理の基本「入門編」 女子栄養大出版部
女子栄養大

高 野 一 宏＜体育史＞
近代体育スポーツ年表 岸野雄三 大修館書店

米 谷 光 弘＜演習＞
保育学研究 守屋光雄 昭和堂
保育学原論 守屋光雄 朝倉書店
幼児の発達と指導 高橋・田中 ひかりのくに
自由な子どもの発見 山根・米谷(他)
ミネルヴァ書房
あそび保育のすすめ 守屋光雄 中央法規
＜幼児体育＞
3歳からはじめよう幼児の体力づくり
水谷英三（他） ひかりのくに
新しい運動会 水谷英三 ひかりのくに
保育の中の体力づくり12ヶ月 原田碩三 中央法規
幼児体育の理論と実際 勝部 杏林書院
幼稚園小学校一貫の体育指導 池田猪佐己 泰流社
＜保育内容の研究：健康＞
幼児教育法・健康(理論編) 水谷・大段 三晃書房
幼児教育法・健康(実技実践編) 水谷・大段 三晃書房
図説幼児健康学 原田碩三 れいめい書房
からだの発達 高石（他） 大修館
健康 近藤充夫 同文社

文 学 部（国際文化）

岩 尾 龍太郎＜演習＞
文学とは何か T. イーグルトン 岩波書店
カフカ ドゥルーズ，ガタリ 法政大学出版局
資本主義 関 広野 影書房
プラトンと資本主義 関 広野 北斗出版
文学評論（岩波文庫） 夏目漱石 岩波書店
＜倫理思想史＞
イギリス・ユートピア思想 A. L. モートン 未来社
イングランド人民の歴史 A. L. モートン 未来社
ユートピアだより(岩波文庫) W. モリス 岩波書店
かえりみれば ベラミ 研究社
1984年 G. オーウェル

森 素 男＜地域文化概論Ⅱ＞
ヨーロッパ文化の源流 里野泰昭 有斐閣
ヨーロッパ文明の原型 井上幸治 山川出版
ヨーロッパ人 L. バルジーニ みすず書房
ヨーロッパ中世の社会史 増田四郎 岩波書店
シャルルマーニュの戴冠 R. フォルツ 白水社
＜西洋中世哲学思想＞
神学大全 第一部(全8巻) トマス・アクィナス 創文社
教育思想史 上智大学中世思想研究所 東洋館出版社
個人主義と自由主義 ルークス/プラムナッツ 平凡社
ルネサンスと人文主義 D. ベイユ 平凡社
キリスト教的プラトン主義
上智大学中世思想研究所 創文社
＜文献講読Ⅰ＞
ルネサンス論の試み 近藤恒一 創文社
ペトラルカ研究 近藤恒一 創文社
ルネサンス精神史 S. ドレスデン 平凡社
クザーヌス研究序説 日本クザーヌス学会 国文社
フランス・ルネサンスの人々 渡辺一夫 白水社

西 嶋 幸 右＜演習＞
猫の大虐殺 ダーントン 岩波書店
＜西洋文化史＞
ルソー全集（全14巻） ルソー 白水社

大 辻 千恵子＜日米比較文化論＞
国際婦人デーの歴史 伊藤セツ（他） 校倉書房
現代婦人論入門 伊藤セツ（他） 白石書房
女たちの昭和史 米田佐代子 大月書店
フェミニズムの現在 金井淑子
エコロジカル・フェミニズム 青木やよい 新評論
＜現代アメリカ論＞
アメリカ・インディアンの歴史 富田虎男 雄山閣
アメリカ黒人の歴史 J. H. フランクリン 研究社
現代アメリカ政治 砂田一郎 芦書房
アメリカ合衆国と人種差別 大塚秀之 大月書店
民衆のアメリカ史 ハワード・ジン TBSブリタニカ

斎 藤 末 弘＜文献講読Ⅱ＞
現代文学研究 長谷川 泉 至文堂
椎名麟三・遠藤周作（鑑賞現代日本文学講座25）
佐藤泰正 角川書店

多久和 新 爾＜西洋文学(3)＞
荒地の彼方 L. オールダーマン 評論社
アメリカ文学とキリスト教
ランダル・スチャート 北星堂
アメリカ文学を読む 秋山武夫（他） 太陽社
アメリカ現代史 斎藤 真 山川出版
現代アメリカ文学序説 イーハブ・ハッケン 北星堂
＜比較文学＞
アメリカ人の日本人論 佐伯（他） 研究社
「日本人論」の中の日本人 筑島謙三 大日本図書
平和の海と戦いの海 平川祐弘 新潮社

商 学 部

古 林 輝 久＜経営労務論・労務管理論＞
人間関係学 早坂泰次郎 同文書院

労働と生活　富沢賢治　世界書院
文化としての技術　佐和隆光　岩波書店
日米企業の経営比較　加護野(他)　日本経済新聞社
労務管理と労使関係　木元進一郎　森山書店
経営戦略　石井淳蔵（他）　有斐閣

後藤泰二＜企業形態論＞
現代アメリカ金融資本研究序説
松井和夫　文真堂
株式時価発行の理論　生駒道弘　千倉書房
企業財務と証券市場　佐合紘一　同文館
日本の株式会社　奥村　宏　東洋経済新報社
金融自由化と銀校・証券
西條信弘　(財)資本市場研究会

浜田和樹＜分析会計論＞
利益図表の展開　末政芳信　国元書房
戦略的予算管理　石川　昭　同文館
社会関連会計の展開　山上達人　森山書店
資金計算史論　中村　宏　森山書店
現代企業と管理会計　阪本安一　中央経済社

土方　久＜会計学原理・演習Ⅰ・演習Ⅱ＞
会計学一般教程　武田隆二　中央経済社
最新財務諸表論　武田隆二　中央経済社
近代会計の理論展開　土方　久　森山書店
近代会計の基礎理論（増訂版）　森山書店

糸園辰雄＜中小企業論＞
トヨタと地域社会　都丸・窪田・遠藤　大月書店
中小企業概論　加藤誠一（他）　有斐閣

小森俊介＜外書講読Ⅱ＞
「文化」としての技術　佐和隆光　岩波書店
自然の造形と社会の秩序　H. ハーケン
東海大出版会
社会生態学入門　伊藤嘉昭　東海大出版会
生物の適応戦略　厳佐　庸　サイエンス社
生物集団と進化の数理　松田博嗣・石井一成
岩波書店

＜基礎ゼミ＞
改訂新版・人間性の心理学　A. H. マズロー
産業能率短大出版
和風と洋式(UP選書252)　京極純一　東大出版会
新世代の国家像　パイル　社会思想社
ローマ帝国の栄光　弓削　達　講談社
個人主義と自由主義　S. ルークス(他)　平凡社

＜マーケティング論＞
日本の技術進歩と産業組織　西田　稔　名大出版会
日本の企業立地・地域開発
徳田賢二　東洋経済新報社
マーケティング・リサーチ　アーカー・ディ
白桃書房
イノーベーション普及学入門
ロジャーズ　産業能率大学出版部
計測の科学的基礎：情報生産への道
高田誠二　コロナ社

野藤　忠＜経営史・経営学史＞
経営思想史　野藤　忠　森山書店

大矢繁夫＜証券論＞
金・外国為替・国際金融　小野朝男
ダイヤモンド社
企業財務と証券市場　佐合紘一　同文館
金融自由化　蠟山昌一　東大出版会
金融自由化と金融制度改革　谷田庄三　大月書店
現代アメリカ金融資本研究序説　松井和夫　文真堂

＜演習Ⅱ＞
便覧　日本の金融資本市場
大蔵省金融資本市場問題研究会　財経詳報社
現代日本の公社債市場　公社債引受協会
日本はなぜ株価が高いか
山下竹二　東洋経済新報社
昭和40年5月28日、山一事件と日銀特融
草野　厚　日経新聞社
国際通貨・金融論
ロナルド・I・マッキノン　日経新聞社

＜演習Ⅰ＞
富裕化と金融資本　馬場宏二　ミネルヴァ書房
セキュリタイゼーション　松井和夫
東洋経済新報社
金融の証券化　大和証券経済研究所
東洋経済新報社
現代の銀行独占　銀行問題研究会　新日本出版社
ドルと世界経済危機　S. マリス　東洋経済新報社

佐々木武夫＜経営社会学＞
エネルギーと公正　I. イリイチ　晶文社
産業社会のゆくえ　C. カー　東大出版会
経営体の成長と構造変化　岩田龍子　文真堂
産業社会学の構造　寿里　茂　中央経済社
戦後日本の官僚制　村松岐夫　東洋経済新報社

田中謙一郎＜管理工学＞
経営科学　星野義夫　啓文社
経営科学読本　近藤次郎　日科技連
需要予測とコンピュータプログラム
大西正和　日刊工業新聞社

田代義範＜経営学総論＞
現代アメリカ管理論史　仲田正機　ミネルヴァ書房
経営管理学の生成　雲嶋良雄　同文館
企業の論理　小松　章　三嶺書房
アメリカ企業管理史　小林康助　ミネルヴァ書房
経営管理論史の根本問題　稲村毅　ミネルヴァ書房

産業社会の構図　有斐閣

吉 武 春 光<基礎演習>

プログラム言語への招待　有澤　誠　岩波書店
文科系のためのコンピュータ入門
伊東静男（他）　同文館
コンピュータ言語の学び方　有澤　誠　岩波書店
人工知態とはなにか　白井良明　岩波書店
コンピュータ時代の基礎知識　品川嘉也(他)
講談社

<情報科学>

岩波講座　情報科学 1, 2, 3　岩波書店
電子計算機総論　鵜沢昌和　自由書房
九州大学公開講座12　情報の科学　九州大学出版会

<演習Ⅰ>

文科系のためのコンピュータ入門
伊東静男（他）　同文館
コンピュータの話　有澤　誠　岩波書店
自然語とコンピュータ言語　草薙　裕　講談社
コンピュータ言語学入門　草薙　裕　講談社
プログラム言語への招待　有澤　誠　岩波書店
LISP やさしい記号計算入門
ダビッド・S・トーレッキー　啓学出版
知識表現と Prolog／KR　中島秀之　産業図書

<情報処理基礎、言語処理システム(1)>

LISP（初めての人のための）
竹内郁雄　サイエンス社
文科系のためのコンピュータ入門
伊東静男（他）　同文館
コンピュータ言語学入門　草薙　裕　大修館
LISP　ウィンストン・ホーン　培風館
Lisp 入門　中西正和　近代科学社

<情報処理基礎、言語処理システム(2)>

Prolog プログラミング入門　安部憲広　共立出版
Prolog 入門　太細　考（他）　啓学出版
PROLOG 入門　後藤滋樹　サイエンス社
Prolog　新田克己・佐藤泰介　昭晃堂
Prolog　中島秀之　産業図書

経 済 学 部

古 川 卓 萬<財政学総論>

公平・簡素および経済成長のための“税制改革”
アメリカ財務省　今日社
租税論の展開と日本の税制　宮島　洋　日本評論社
日本の財政・金融問題　深尾光洋　東洋経済新報社
租税改革の新展開　和田八来　文真堂
財政構造とマクロ経済分析
M．ウェルドスタイン　東洋経済新報社

岩 元 和 秋<地方財政論>

租税論の展開と日本の税制　宮島　洋　日本評論社
現代地方財政学　能勢哲也・九山高満　有斐閣
図説・日本の財政(昭61年版)　大蔵省
東洋経済新報社
税制の抜本改革　税務経理協会　税務経理協会
現代地方自治財政論　坂本忠次　青木書店

前 田 芳 人<経済発展論>

経済発展の理論　第2版　西川　潤　日本評論社
経済発展理論　鳥居泰彦　東洋経済新報社
国際経済の新展開　前田・小川　世界思想社
人間復興の経済　シュマッハー　佑学社
資源物理学入門　槌田　敦　NHKブックス

<演習Ⅰ>

社会経済学の方法　高瀬　浄　文真堂
国際経済の新展開　前田・小川　世界思想社
比較経済発展論　斎藤謹造　東洋経済新報社
クリフォード・ギァツの経済学
原　洋之介　リブロポート
経済発展の生態学
リチャード・ウィルキンソン　リブロポート

<演習Ⅱ>

満足の限界　W．リース　新評論
欲望社会　犬田　充　中央経済社
経済人類学　栗本慎一郎　東洋経済新報社
幻想としての経済　青工社
大転換　K．ポランニー　東洋経済新報社

松 原 宏<演習Ⅰ>

産業構造の変革と九州経済の展望
九州経済調査協会　九州経済調査協会
円高と地域経済
九州経済調査協会　九州経済調査協会
トヨタと地域社会　都丸泰助（他）　大月書店
巨大企業の進出と住民生活　館　逸雄　東大出版会
企業合理化と地方都市　野崎昭夫　東大出版会

<演習Ⅱ>

地域調査法　古島敏雄（他）　東大出版会
地域統計概論　河辺　宏　古今書院
人文地理　木内信蔵　古今書院
フィールドワーク入門　市川健夫　古分書院

<経済地理学>

経済地理学　川島哲郎　朝倉書店
工業立地論　ウェーバー，A.　大明堂
スミス工業立地論(上)・(下)　スミス，D　大明堂
立地の理論（上)・(下)　香日茂男　大明堂

村 岡 伸 秋<中国経済論>

脱集団化へ向かう中国
ルネ・デュモン　社会思想社

現代中国の外交　A. ドーク・バーネット　教育社
ヤルター戦後史の起点　藤村　信　岩波書店

仲 澤 幸 寿＜厚生経済学＞
現代財政学　能勢哲也　有斐閣
日本の財政金融問題　深尾光洋　東洋経済新報社
財政構造とマクロ経済分析
マーティン・フェルドシュタイン　東洋経済新報社
経済・経営のための基礎数学（1～8巻）
深見哲造・渡辺隆一　培風館
不均衡の経済分析　伊藤隆敏　東洋経済新報社

相 模 裕 一＜国民所得論＞
マクロ経済学と日本経済
黒坂佳史・浜田宏一　日本評論社

柴 田 徳太郎＜金融論＞
金融読本　呉　文二　東洋経済新報社
現代金融の理論と構造
小野・山口（他）　東洋経済新報社
日本の金融と銀行　鈴木淑夫　東洋経済新報社
金融自由化　蠟山昌一　東大出版会
金融　川口　弘　筑摩書房
＜外書講読Ⅰ＞
インターナショナルバンキング　布目真生　有斐閣
The Japanese Economy　G. C. Allen
A Short Economic History of Modern Japan
G. C. Allen
Japan's Economic Policy　G. C. Allen
Japan 1986　経済広報センター
＜演習Ⅰ＞
レーガン政策下の日本経済　吉富　勝
東洋経済新報社
総説・日本経済1～4　大島　清　東大出版会
わが国の金融制度　日銀金融研　日銀
中央銀行　西川光彦　東洋経済新報社
金融証券講座（Ⅰ～Ⅴ）
貝塚・志村(他)　東洋経済新報社
＜演習Ⅱ＞
現代のアメリカ経済　石崎・佐々木(他)
東洋経済新報社
シリーズ・世界経済Ⅰ　馬場宏二　御茶の水書房
アメリカの金融制度　高木　仁　東洋経済新報社
日本銀行金融政策史　田中生夫　有斐閣
日本経済と金融　鈴木淑夫　東洋経済新報社

新 谷 正 彦＜経済統計論＞
経済分析のための統計的方法
岩田暁一　東洋経済新報社
経済統計論(第3版)　溝口敏行　東洋経済新報社
経済統計入門　中村隆英(他)　東大出版会
経済統計分類論　三潴信邦　有斐閣
指数の理論と実際　アレン　東洋経済新報社
＜計量経済学＞
計量経済学　岩田暁一　有斐閣
計量経済学　蓑谷千凰彦　東洋経済新報社
計量経済分析の考え方と実際
刈屋武昭　東洋経済新報社
計量経済分析の基礎と応用　東洋経済新報社
統計解析入門　武藤真介　東洋経済新報社
＜演習Ⅰ＞
計算機の歴史　ゴールド・シュタイン　共立出版
Pascal への招待　カッツァン　近代科学社
PASCAL とプログラミング技法
向殿・武野　工学図書
PASCAL によるプログラミング入門
斉藤忠夫　昭晃堂
PASCAL によるプログラミング入門
細井・嶋田　産業図書
＜演習Ⅱ＞
パソコンによる多変量解析　小林竜一　培風館
パソコンによる統計解析　小林竜一　培風館
実用プログラム BASIC・Pascal プール
マグロウヒルブック
PASCAL によるデータ構造
古東　馨　東京電機大学出版局
プログラミング言語 PASCAL とその応用
森脇幸生　工学図書
＜外書講読＞
近代経済学　新開・新飯田・根岸　有斐閣
経済原論　大石泰彦　東洋経済新報社
ミクロ経済学　林　敏彦　東洋経済新報社
マクロ経済学　新開陽一　東洋経済新報社
経済学(上・下)　サミュエルソン　岩波書店
＜情報処理基礎・経済予測システム＞
Fortran 77　小国　力　丸善
FORTRAN プログラミング
二宮理喜　マグロウヒルブック
FORTRAN 77 プログラミング
杉江日出澄　培風館
FORTRAN 77 言語　広内哲夫　竹内書店新社
FORTRAN 77 応用　穴吹（他）　東海大出版局
＜情報処理基礎・統計処理システム＞
BASIC 活用辞典　大河内・鍛島　誠文堂新光社
BASIC サブルーチン集(1)
ラックデュッシェル　現代数学社
BASIC サブルーチン集(2)（上・下）
ラックデュッシェル　現代数学社
ベーシック BASIC　モンロ　近代科学社
詳解 BASIC 演習　共立出版

庄 山 正 二<情報処理基礎・統計処理システム(4)>
需要予測と経済予測　室田泰弘　培風館
統計プログラム入門　三觜　武　日科技連出版
統計プログラム入門(続)　三觜　武　日科技連出版
統計解析プログラムの基礎
芳賀・橋本　日科技連出版
パソコンによる統計解析　小林竜一　培風館
<情報処理基礎・統計処理システム(3)>
BASIC によるグラフィックス入門
秋田　宏　共立出版
BASIC プログラミング入門
日本ディジタルイクイップメント　共立出版
BASIC 文法書
日本ディジタルイクイップメント　共立出版
BASIC　刀根　薫　培風館
統計解析　古林　隆　培風館

法 学 部

今 井 威<憲法>
憲法Ⅰ，総論・統治機構　佐藤幸治　成文堂
憲法講義ノートⅠ　芦部信喜　有斐閣
憲法学講話　小嶋和司　有斐閣
神 宮 典 夫<講義・法制史>
ローマ法 Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ,Ⅴ　船田享二　岩波書店
歴史学の方法　弓削　達　東大出版会
ローマの共和政　ブライケン　山川出版
Das Römische Privatrecht. (Ⅰ)・(Ⅱ)
Kaser, M.　C. H. Beck
Institution de l'antiquité　Gaudemet.
<演習>
キリスト教東方の神秘思想
V. ロースキー　勁草書房
ローマ帝国の没落　チェインバース　創文社
ローマ帝国衰亡史Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅵ.　ギボン　筑摩書房
背教者ユリアヌス　辻　邦生　中央公論社
The Later Roman Empire. (Ⅰ)・(Ⅱ)
Jones, A. H. M
<基礎演習>
法女性学のすすめ　金城清子　有斐閣
わかりやすい男女雇用均等法
花見忠・赤松良子　有斐閣
ボーボワール第二の性　ボーボワール　白水社
ドイツ人の歴史意識　藤沢法暎　亜紀書房
どう映っているか日本の姿
NHK取材班　日本放送協会
<外書講読Ⅱ>
Politics in the Ancient World. Finley, M. I.
Cambridge U. P.
Ancient Slavery and Modern Ideology.
Finley, M. I.　Penguin Books
Römische Sozialgeschichte. Alföldy, G.
Römische Rechtsgeschichte.　Kunkel, W.
Bählau
Histoire de Rome.　Piganiol, A.
Press Universitaires de France
河 島 幸 夫<政治学原論>
解放の政治学　ベイ　岩波書店
市民の政治学　中原喜一郎　勁草書房
権力　ルーマン, L.　勁草書房
政治権力論　井手健一　雄松堂
政党支持の分析　三宅一郎　創文社
<外書講読Ⅰ>
ヴァイマル共和国における自由民主主義者の群像
B. B.　フライ　太陽出版
アデナウアーと吉田茂　大嶽秀夫　中央公論社
社会主義とドイツ社会民主党
シュタインベルク　御茶の水書房
二つのドイツ　辻　通男　教育社
カール・シュミット研究　山下威士　南窓社
<基礎演習>
人権と国際社会　上・下
世界宗教者平和会議日本委員会　佼成出版社
差別と人権 (全7巻)　磯村英一(他)　雄山閣
太平洋戦争　第2版　家永三郎　岩波書店
写真記録日本の侵略、中国朝鮮
黒羽清隆　ほるぷ出版
アウシュヴィッツの記録
平和博物館を創る会・平和のアトリエ　三省堂
<演習>
賀川豊彦全集(全24巻)　賀川豊彦　キリスト新聞社
光芒の1920年代　朝日ジャーナル　朝日新聞社
戦争責任　家永三郎　岩波書店
よい戦争　Terkel, S.　晶文社
吉田満著作集(上・下)　吉田　満　文芸春秋社
<政治思想史>
民主主義思想の源流　有賀　弘(他)　東大出版会
ヨーロッパの政治的伝統　バーキー　晃洋書房
政治哲学　クイントン　昭和堂
近代寛容思想と信教自由の成立　種谷春洋　成文堂
キリスト教史(全4巻)　Walker. W.　ヨルダン社
<政治史>
ヨーロッパの政治　篠原　一　東大出版会
ワイマル共和国史(3)　E. Eyck　ぺりかん社
ワイマール文化とファシズム　蔭山　宏　みすず書房

現代のドイツ(全12巻) 大西健夫 三修社
現代ドイツ政治史 Rupp 有斐閣

古 賀 衛<国際法Ⅰ>
国際法講義(上・下) 田畑茂二郎 有信堂
国際法 山本草二 有斐閣
国際法概論(上・下) 高野雄一 弘文堂
解説条約集(増補版) 小田滋・石本泰雄 三省堂
国際法 I. ブラウンリー 成文堂

<国際法Ⅱ>
ケースブック国際法(増訂版) 田畑茂二郎 有信堂
国際司法裁判所 高野雄一 東大出版会
基本判例双書・国際法 宮崎繁樹 同文館
国際法資料集(1986年度) 大沼保昭 東大出版会

小 山 雅 亀<刑法Ⅱ>
刑法各論 中山研一 成文堂
現代刑法講座4,5巻 中山・西原(他) 成文堂
注解刑法 大塚 仁 青林書院新社
刑事訴訟法 二訂版(現代法律学全集28)
高田卓爾 青林書院新社

中 森 宏<民事訴訟法>
民事執行法講義 山木戸克己 有斐閣
新版民事訴訟法演習(1,2) 三ヶ月(他) 有斐閣
新民事執行法の解説 田中康久 キンザイ
法学史 碧海(他) 東大出版会
民事訴訟法判例互選(2版) 新堂(他) 有斐閣

中 尾 英 俊<演習>
入会裁判の実証的研究 中尾英俊 法律文化社
ほうげん・記録は日本の西南 ほうげん会 革書房

西 井 龍 生<民法Ⅲ,Ⅳ,Ⅴ>
事務管理、不当利得、不法行為(上・中・下)
四宮和夫 弘文堂
民法(第3版)(1)~(9) 遠藤 浩(他) 有斐閣

小田島 真千枝<民法Ⅰ>
民法概論Ⅰ(序論・総則) 星野英一 良書普及会
設例民法学Ⅰ 民法総則 川井 健 一粒社
民法総則 第4版(法律学講座双書)
四宮和夫 弘文堂
民法講義1 総則(大学双書)
五十嵐清(他) 有斐閣

<民法Ⅱ>
民法概論Ⅱ(物権・担保物権) 星野英一 良書普及会
設例民法学②物権法 川井 健 一粒社
民法(2)物権(第3版) 遠藤 浩(他) 有斐閣
民法(3)担保物権(第3版) 遠藤 浩(他) 有斐閣

<民法A>
民法(1)総則(第3版) 遠藤 浩(他) 有斐閣
民法(2)物権(第3版) 遠藤 浩(他) 有斐閣
民法(3)担保物権(第3版) 遠藤 浩(他) 有斐閣
民法読本1 総則・物権法
好美清光・米倉明 有斐閣

沢 野 直 紀<金融法>
現代銀行取引法 吉原省三 金融財政事情研究会

高 橋 貞 夫<基礎演習>
アメリカの平等雇用 竹内一男 中央経済社
女性の時代 石田英夫 仏文堂
男女の雇用の平等 道田信一郎 新潮社
現代の雇用平等 花見 忠 三省堂
契約社会アメリカと日本の違いを見る
道田信一郎 有斐閣

<演習>
2000年の労働
労働大臣官房政策調査部 大蔵省印刷局
日本的雇用慣行の変化と展望
労働大臣官房政策調査部 大蔵省印刷局
労働時間の経済学 基礎経済科学研究所 青木書店
不当労働行為 東大労働法研究会 有斐閣
労働組合、労働協約 東大労働法研究会 有斐閣

<労働法Ⅰ>
注釈労働組合法(上・下)
東大労働法研究会 有斐閣
労働法 管野和夫 弘文堂
団体交渉権の研究(新訂版)
光岡正博 法律文化社
団結権侵害とその救済 外屋健一 有斐閣
不当労働行為の法理 外屋健一 有斐閣

<労働法Ⅱ>
新労働基準法論 片岡 昇(他) 法律文化社
労働契約の研究 岩井(他) 法律文化社
労働災害補償法論 窪田隼人(他) 有斐閣
セミナー労働時間法の焦点 管野和夫(他) 有斐閣
労働訴訟、労働補償 東大労働法研究会 有斐閣

田 村 茂 夫<基礎演習>
法律学小辞典 増補版
藤木・金子・新堂 有斐閣
法律用語の基礎知識 谷口知平 有斐閣
「権利のための闘争」を読む
村上淳一 岩波セミナーブック
法律からの自由と逃避 広渡清吾 日本評論社

<演習>
会社法はどう変わるか 商事法務研究会
かくれた株主 河本・大武 商事法務研究会
株主総会のあり方 商事法務研究会
国際取引の法務戦略 藤岡公夫 商事法務研究会
EC通商法の解説
ヴァンバエル・ベリス 商事法務研究会

<商法B>

有価証券法入門　前田　庸　有斐閣
手形決済・不渡の法律紛争　木内宜彦　有斐閣
英国流通証券法史論　ホールデン　中央大学出版部
有価証券法の基礎理論　小橋一郎　日本評論社
手形小切手訴訟法(裁判実務大系 2)
村重慶一　青林書院新社

＜商法Ⅰ＞

現代商事法の重要問題
田中誠二米寿記念論文集　経済法令研究会
振込・振替の法理と支払取引　後藤紀一　有斐閣
商事法の現代的課題
喜多了祐退官記念論文集　中央経済社
銀行取引約定書
堀内仁傘寿記念論文集　経済法令研究会
証券取引法大系
河本一郎還暦記念　商事法務研究会

＜商法Ⅱ＞

現代株式会社法の課題
北沢先生還暦記念　有斐閣
英米会社法の基礎理論　本間輝雄　有斐閣
会社法講義(上)　竹内昭夫　有斐閣
会社法の諸問題(新版)　大隅健一郎　有信堂
プレップ会社法　奥島孝康　弘文堂

山　田　　洋＜演習＞

新版行政法(1)(2)(3)　南・原田・田村　有斐閣
判例ノート・行政法　市原昌三郎　法学書院
行政法散歩　塩野・原田　有斐閣

＜行政法Ⅱ＞

法治国家理念と官僚制　宮崎良夫　東大出版会
条解・行政事件訴訟法　南　博方　弘文堂
国家と法Ⅱ—行政法—
南　博方　日本放送出版協会
行政救済法（別冊法学セミナー）
室井　力　日本評論社
日本行政法(上・下)　美濃部達吉　有斐閣

横　田　守　弘＜基礎演習＞

憲法　伊藤正己　弘文堂
憲法講義〔新版〕　小林直樹　東大出版会
憲法講和(1)〔新版〕、(2)　長谷川正安　法律文化社

昭和62年度　**指定図書目録**　(図書館報　第112号　付録)
昭和62年7月1日発行　西南学院大学図書館